

なすしおぼら ボランティアセンター情報誌

令和8年3月20日号



3月1日(日)いきいきふれあいセンターで「第5回春いち元気あっぷひなまつり」が開催されました。ボランティア登録団体や市内で活動している団体、合わせて8団体が出演しました。昨年までは那須塩原市まちなか交流センター-くるるで行っていましたが、会場を変えて初めてのイベントでした。

舞踊(日本舞踊、新舞踊)やダンス(フォークダンス、フラダンス、ヒップホップ)、楽器の演奏(三味線、二胡、お囃子)があり、どの団体の発表も魅力的で、会場内の観客を惹きつけていました。出演者の皆さんが生き生きとした表情で発表している姿を見て、来場者も元気をもらえるイベントとなりました。代表の藤間さんは「元気をあげるだけでなく、皆さんからパワーをもらったので本当にありがたい。イベントが成功して良かった」と感謝の言葉を述べていました。



第3回ボランティア交流会を開催しました



2月24日（火）ボランティアセンターで第3回ボランティア交流会を開催し、25名が参加されました。

前半はグループ交流を行い、自由におしゃべりをしながらボランティア活動についての情報交換をしました。後半は全体交流で、自己紹介と活動のアピールを一人ずつしていただきました。皆さん様々な活動をされており、活動紹介や会員募集について、イベント告知など沢山の情報を得ることができました。参加者からは「色々な活動の話が聞けて勉強になった」、「自分ができることを進んでボランティアしてみようと思った」などの声が聞かれました。

今後も様々な内容の交流会を考えていきますので、興味のある方はぜひご参加ください。



東原小学校で視覚障がい者の講話を実施

2月2日（月）東原小学校の4年生を対象に、視覚障がい者の講話を行いました。稲村地区に住む川野辺由美子さんを講師に迎え、本人の目の見え方や日常生活の工夫、外出時や買い物の様子など話をさせていただきました。また、児童たちの前で白杖を使って歩く様子も実践しました。

児童たちからは「お金はどうやって見分けているの」「災害が起きた時避難はどうするの」などたくさんの質問があり、川野辺さんは一つ一つ丁寧に答えていました。「聞かないとわからないから何でも聞いて」と話をされていました。

講話を通して児童たちも視覚障がいへの理解を深め、多くの気付きを得られたのではないかと思います。



メリーさんの羊～オカリナで新曲披露～



3月5日（木）オカリナの演奏団体「メリーさんの羊」が錦町生きがいサロンで曲を披露しました。

「威风堂々」「メリーさんの羊」を演奏した後、団体の紹介と演奏に使用するオカリナの種類を説明し、音の違いを伝えていました。童謡や春の歌と一緒に歌ったり、三線を使っての演奏や曲当てクイズも行いました。クイズの正解者には手作りのプレゼントがあり、貰った参加者はとても喜ばれていました。また、この日は現在放送中の連続テレビ小説「ばけばけ」の主題歌「笑ったり転んだり」を初披露し会場を盛り上げました。参加者からも「初めて歌ったけど、良い曲だね」との声が聞かれており、笑顔で楽しまれていました。



「要約筆記入門講座」を開催しました

全4回の日程で「要約筆記※入門講座」を健康長寿センターで開催しました。この講座は、聴覚障害者の方々への情報保障の一つである要約筆記の普及啓発と、コミュニケーション支援への理解を深めることを目的として、那須塩原市社会福祉協議会主催で開催しました。講師には、全国要約筆記問題研究会栃木支部長の安田房代さんを迎え、8名の方が受講されました。

※聴覚障害者に、話の内容をその場で文字にして伝える筆記通訳。



▲ 第1回 2月6日(金)

要約筆記は、手書きとパソコン入力の2種類の方法がありますが、今回の講座では手書き要約筆記を学びました。

第1回の講座では、聴覚障害の種類やコミュニケーション方法、要約筆記の目的、支援者としての考え方などの基礎知識を学びました。

第2回の講座では、福祉の意味を学び、文字の大きさや行間に注意しながら書く練習、話し手の声を文字にする体験などを行いました。

第3回の講座では、要約筆記の種類やきまり、速く書くための技術、略号・略語などを学びました。

第4回の講座では、話のポイントをおさえて聞くこと、書くことを学びました。最後に、ミニホワイトボード（筆談ボード）を作り、自分で作ったミニホワイトボードを使って筆談を体験しました。



▲ 第2回 2月13日(金)



▲ 第3回 2月20日(金)



▲ 第4回 2月27日(金)



受講者からは「要約筆記は初めて聞いた言葉だったが、勉強になった」「体験や実習が多く楽しかった」「要約筆記は日常生活でも大切だと思った」「難しさも実感できました。次につなげたい」などの感想がありました。今回受講された皆さんが、聞こえのサポーターとして地域社会で活躍されることを期待しています。



収集活動報告(令和7年3月～令和8年2月収集分)

皆さまからお預かりした収集物を以下のとおりお届けしました。

★空き缶のプルタブ・・・14, 1kg

※市内の障害福祉施設にお届けしました。これらは、各施設の活動等に役立てられます。



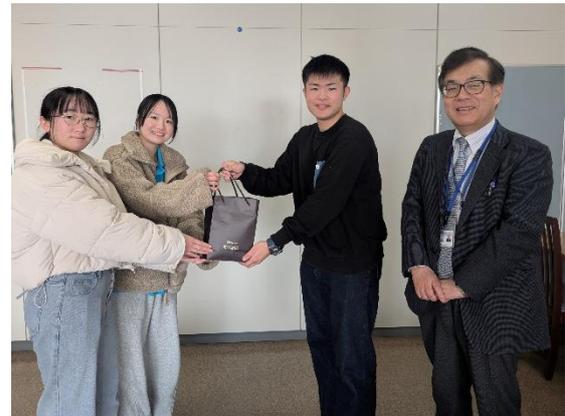
★使用済み切手・・・・・・・・・・14, 8kg
★未使用ハガキ・・・・・・・・・・89枚
★書き損じハガキ等・・・・・・・・400枚
★外貨・外国切手・・期間中に集まった分
※アジア学院にお届けしました。これらは、施設の運営や活動に役立てられます。



★ベルマーク・・・期間中に集まった分
※国際医療福祉大学ボランティアセンター所属のボランティア部、アルメリアへお届けしました。これらは、被災地の学校支援に役立てられます。



※これらの収集活動は、那須塩原市高校生ボランティアグループとんぼの会の活動の一環としてボランティアセンターが支援し行っています。



皆さまからの温かいご支援・ご協力ありがとうございました



2月10日(火)とんぼの会の齋藤会長と佐藤副会長が、1年間で集まった収集物を各施設等へ届け、この日をもって3年生のボランティア活動は終了となりました。今年度は15名の3年生がとんぼの会を卒業し、それぞれの道へ大きく羽ばたいていきます。

これまでの活動を振り返り、齋藤会長は「とんぼの会でしか得られない経験や出会いがあり、毎回の活動がすごく楽しく、3年間があっという間だった。ボランティアに興味のある人はぜひ挑戦してもらいたい」と話してくれました。佐藤副会長は「作業療法士になることを夢に、医療や福祉に関わるボランティアに多く参加した。その中で様々な経験と多くの学びを得ることができ、何よりとても楽しかった。これからボランティア活動を始める人も楽しみながら多くの人と関わり、色々な経験を積んでみて欲しい」と話してくれました。

那須おもちゃクリニック★令和8年度開院日のお知らせ

壊れてそのままになっているおもちゃはありませんか？

おもちゃドクターが使えるように修理いたします。修理できない場合や安全面を考慮してお受けできない場合もありますが、持って来ていただければ、お預かりして次回開院日にお返しします。例外を除き、無料のボランティア活動です。おもちゃドクターが皆さまのお越しをお待ちしています。

予約は不要ですので、ご都合のよい開院日に直接お越しください。

【おもちゃ修理を受ける場所及びお返しする場所】

那須塩原市社会福祉協議会 ボランティアセンター(那須塩原市南郷屋 5-163 健康長寿センター内)

TEL : 0287-47-6700 FAX : 0287-47-6690

【おもちゃ修理を受ける日時】 毎月第3木曜日 10時～12時

2026年4月16日	7月16日	10月15日	2027年1月21日
5月21日	8月20日	11月19日	2月18日
6月18日	9月17日	12月17日	3月18日

【依頼時のお願い】

★おもちゃの取扱説明書がある場合は、お持ちください。

★壊れた部分だけではなく、関連するパーツ類も一緒にお持ちください。



ボランティアセンター運営委員会が開催されました

ボランティアセンターでは、地域福祉の推進を図るため、地域住民のボランティア活動に関する理解と関心を深めるとともに、ボランティア活動の育成支援など様々な事業を行っています。

その中で、ボランティア関係者や学識経験者、社会福祉事業や行政などの関係者による運営委員会を毎年開催しています。2月19日(木)には、今年度2回目の運営委員会を健康長寿センターで開催しました。

会議では、センターの運営状況の報告、令和8年度の事業計画の他、日頃行われているボランティア活動のことや、これからのボランティアについてなど幅広い意見があり、ボランティア活動が若い世代からはじまり、シニア世代まで活動できるようにつなげていくこと、センターだけではなく関係する機関との連携や地域を意識した行動が必要であるなど、とても大切な意見が交わされました。

ボランティアセンターでは、これらの意見や社会福祉協議会で掲げる「ともに助け合い 支え合い 心豊かに安心して暮らせる那須塩原市をめざして」の基本理念を踏まえ、令和8年度も事業を展開していきます。今後ともよろしくお願いいたします。



《令和8年度ボランティア活動保険のお知らせ》

◆「ボランティア活動保険」の対象となるボランティア活動

日本国内における「自発的な意思により他人や社会に貢献する無償のボランティア活動」でボランティアセンターに登録されている団体または、個人の活動が補償の対象となります。

保険金の種類		加入プラン	基本プラン	天災・地震補償プラン
ケガの補償	死亡保険金		1,040万円	
	後遺障害保険金		1,040万円（限度額）	
	入院保険金日額		6,500円	
	手術保険金	入院中の手術	65,000円	
		外来の手術	32,500円	
	通院保険金日額		4,000円	
地震・噴火・津波による死傷		×	○	
賠償の補償	賠償責任保険金 （対人・対物共通）		5億円（限度額）	
年間保険料			350円	500円

◆補償期間→令和8年4月1日午前0時から令和9年3月31日午後12時まで。

途中で加入される場合は、加入申込手続き完了日の翌日からになります。

◆補償期間の途中で加入される場合も上記の保険料となります。なお、途中脱退による保険金の返金はありません。

◆途中でボランティア（メンバー）の入れ替えや、ご加入プランの変更はできません。

◆基本プランでは地震・噴火・津波に起因する死傷は保証されません。

その他、ボランティア行事用保険、福祉サービス総合補償、送迎サービス補償について、保険料・補償金額ともに改定はありません。ボランティア保険等についてのお問い合わせは、ボランティアセンターまでお願いいたします。



ボランティア備品等の利用案内

ボランティアセンターでは、登録団体及び市内で福祉を目的とした活動をしている団体を対象に次の物がご利用になれます。

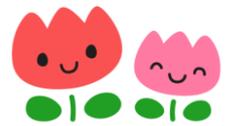
- 印刷機の利用（紙は各自ご用意ください。）
- 拡大印刷（有料になります。受け取り希望日の14日前までに申請書の提出が必要です。）
- 事務所内コピー機（有料になります。）
- レターボックス付きロッカー（登録団体のみ・有料になります。）

利用について、詳しくはボランティアセンターまでお問い合わせください。



お知らせ

まほうのとびら～会員募集～



「まほうのとびら」は西那須野図書館で子どもたちに絵本の読み聞かせを行っているボランティアグループです。一緒に活動していただける仲間を募集しています。お気軽にお問合せください。

【活動日時】毎月第2・第4土曜日 午後2時～2時30分

【活動場所】西那須野図書館

【問合せ先】ボランティアセンター TEL：0287-47-6700



ボランティア活動実績

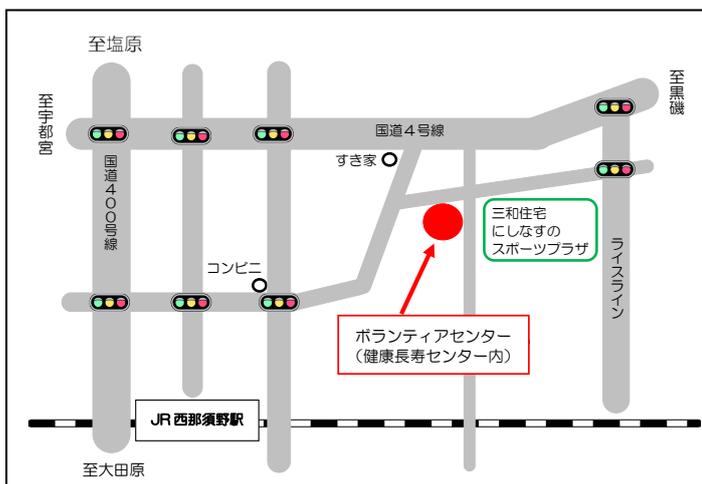
1月	イベント他	10件	46人	2月	イベント他	6件	26人
	傾聴	11件	20人		傾聴	9件	20人
福祉体験	4件	13人	福祉体験	3件	9人		
合計	25件	79人	合計	18件	55人		

ボランティアセンター登録数（2月28日現在）

団体	個人
105団体（非公開含む）	92人



【ボランティアセンター】



地域共生社会振興基金寄付者一覧 （令和7年3月1日～令和8年2月28日） （敬称略）

- ・そすいの郷ふるさとにしなす産直会
- ・那須塩原市一般廃棄物処理協同組合
- ・株式会社 Shikano

地域共生社会振興基金とは、地域共生社会の実現のため、那須塩原市社会福祉協議会が設置している基金です。

発行：社会福祉法人那須塩原市社会福祉協議会
ボランティアセンター

〒329-2705 那須塩原市南郷屋 5-163
（健康長寿センター内）

TEL 0287-47-6700/FAX 0287-47-6690

Eメールアドレス v.center@ns-shakyou.jp

★メール、FAX、電話でみなさまの感想や
情報をお寄せください。



▲ボランティア
センター公式LINE



▲那須塩原市社協
フェイスブック



▲那須塩原市社協
インスタグラム